



島根県立古代出雲歴史博物館  
Shimane Museum of Ancient Izumo

令和6年3月11日  
島根県立古代出雲歴史博物館  
(担当) 岡  
TEL: 0853-53-8600 (代表)  
FAX: 0853-53-5350  
Mail: rekihaku@pref.shimane.lg.jp

## ミニ企画「まぼろしの意東焼」の開催について

「意東焼」は、かつて松江市東出雲町下意東で製造されていた染付\*1の磁器。文化年間(1804～1818)に操業がはじまったといわれ、天保3年(1832)には松江藩の官営事業として操業しました。しかし経営はおもわしくなく、同13年(1842)に休窯、弘化元年(1844)に廃止されました。短期間の操業ながらも、様々な磁器が製作されました。

今回は当館が収蔵する、意東焼の優品\*2および、かつて窯跡から見つかった磁器の数々を紹介します。

\*1 染付 白地に青の釉薬(呉須釉)で文様を描き、透明な釉薬をかけて焼成した磁器。

\*2 元東出雲町文化財専門委員 故・周藤國實氏(松江市東出雲町)のコレクションより。周藤氏は幻の磁器・意東焼ほか数々の資料を独力で蒐集、後生に伝えることに尽力され、平成14年(2002)には多数のコレクションを島根県に寄贈された。

### 記

- 1 展示期間 3月13日(水)～5月20日(月)  
\*会期中の休館日: 4月2日・23日、5月7日(いずれも火曜日)
- 2 開館時間 9:00～18:00(最終入館 17:30)
- 3 会場 島根県立古代出雲歴史博物館 常設展示室
- 4 料金 常設展の入場料金でご覧いただけます。(追加料金はかかりません。)  
(一般 620 円、大学生 410 円、小中高生 200 円)
- 5 主な展示品
  - ① 菊霊亀図朝顔形大鉢  
手水鉢。外側には意匠化された菊を、見込み(内側)には霊亀を大胆に描いた大作。高台内側に「天保年製 雲陽長歳山 月漢画」の銘がある。意東焼を代表する作品。
  - ② 船通山大川図 盃  
見込みには船通山がそびえ、山々の中を大川(斐伊川)が蛇行しつつ流れるさまを、外側には、大川の本流とともに天保3年(1832)に治水対策により開削された新川(出雲市斐川町)も描く。高台内側に「長歳山天保製」の銘あり。

菊霊亀図朝顔形大鉢 \* 下段は側面



船通山大川図盃 \*下段は裏面

